

1 事業名 平成27年度教育事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業
通学合宿「テンちゃん一家の一週間」

2 趣 旨

日常の家庭生活とは切り離れた環境で、異なる学校・学年同士での共同生活や学習活動を行い、人と関わる力や集団生活のマナー、基本的な生活習慣の育成を図る。

3 期 日 平成27年11月8日（日）～11月14日（土）

4 参加者 滝沢市立滝沢第二小学校・滝沢東小学校4～6年生 35名
（4年生 5名 5年生 14名 6年生 16名）

5 連携・協力 滝沢市教育委員会、滝沢市立滝沢第二小学校、滝沢市立滝沢東小学校

6 内 容

(1) 日 程

11月8日 (日)	日	※バス 送迎解 送者	14:30	14:40	15:00	15:30	15:45	16:00	17:30	18:15	19:00	20:00	20:30	21:10	21:30		
			滝沢東小 学校発	滝沢第二小 学校発	受付	はじめの 会	オリエン テー ション	アイスブレイク (館内OL)	ヘアメイク 荷物整理等	夕食	一週間のめあてづくり	1日を ふりかえる	入浴	就寝準備	就寝		
11月9日 (月)	月	6:15 起床 朝の つどい 朝食	7:30	通 学 中				16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:30	21:10	21:30	
								学校発 バス移動	学習時間	休憩	夕食	学習・交流 【アトキンソンプログラム】	1日を ふりかえる	入浴	就寝準備	就寝	
11月10日 (火)	火	6:15 起床 朝の つどい 朝食						学校発 バス移動	学習時間	休憩	夕食	学習・交流 【レクリエーション】	1日を ふりかえる	入浴	就寝準備	就寝	
11月11日 (水)	水	6:15 起床 朝の つどい 朝食						15:00頃	16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:30	21:10	21:30
								滝沢第二 小学校発 バス移動	滝沢東小学校 バス移動	学習時間	休憩	夕食	学習・交流 【創作活動・ スーパー竹とんぼ】	1日を ふりかえる	入浴	就寝準備	就寝
11月12日 (木)	木	6:15 起床 朝の つどい 朝食						15:00頃	15:30	17:00	18:15	19:00	20:00	20:30	21:10	21:30	
				学校発 バス移動	学習時間	自由あそび	夕食	学習・交流 【星空観察】	1日を ふりかえる	入浴	就寝準備	就寝					
11月13日 (金)	金	6:15 起床 朝の つどい 朝食						16:00頃	17:00	18:00	18:15	19:00	20:00	20:30	21:10	21:30	
				学校発 バス移動	学習時間	休憩	夕食	学習・交流 【家訓づくり】	1日を ふりかえる	入浴	就寝準備	就寝					
11月14日 (土)	土	6:30 起床 朝の つどい 朝食	7:00	8:20	8:45	9:20	10:30	11:35-45									
				清掃活動	退所点検	成果発表 ふりかえり活動 アンケート記入	おわりの会	滝沢東小→ 滝沢第二小着									

(2) 指導者

・生活・学習指導全般、交流の時間の指導 国立岩手山青少年交流の家職員・法人ボランティア

(3) 企画のポイント

時間を意識して行動するために、それぞれの活動がゆとりをもってできるよう日課を改善した。規則正しい生活及び家庭学習の習慣を形成するために日課を固定し、きめ細やかな指導ができるように学生のボランティアスタッフを配置した。また、人とかかわる力や集団生活のマナーを学びながら、意欲を持続させるために交流学习の時間を設定し、職員が担当した。交流学习の「レクリエーション」では、ボランティアスタッフがこれまでのボランティア研修で学んだ事を生かして、活動内容を企画し実践する場とした。

調査研究として、参加小学生に対して事業前後にアンケートを実施した。また、保護者に対しては事業後にアンケートを実施し個々の変容や事業の有効性を探るよう企画した。

(4) 広報のポイント

年度初めに各学校を訪問し、校長、副校長、教務主任等に事業の趣旨や内容の説明と広報を行った。また、4月に行われたPTA総会等で事業について周知してもらうように依頼した。

企画段階においては、各学校との綿密な日程調整を行い、協力を得ながら企画を進め、事業1か月前には4～6年生にチラシを配布した。

(5) 運営のポイント

基本的な生活習慣を身につけることに重点を置き、1週間をとおして決められた生活リズムと時間を意識した行動ができるように活動プログラムを工夫した。また、異学年・異学校の児童が交わり、色々な人からの影響を受けながら活動や生活できるようにグループ分けをした。児童たちの活動が自発的なものになるための工夫としては、毎日の活動の最後に「1日をふりかえる」時間を設け、ビーイングに児童たちの思いや生活の中で気づいたことを書き込ませ、思いや考えを見える形で積み重ねた。最終日前日の夜にKJ法を用いながら、一週間をかけて書き込まれたビーイングから、個人の思いや考えをグループの話し合いをもとに整理し大切な言葉を組み合わせながら、これからの生活の中で生かせる「家訓づくり」としてまとめる活動を取り入れた。

1週間をとおして班での生活が中心になることから、初日から3日目までの交流学习の時間は、班員がまとまって行動し協力して活動するものとして、「館内オリエンテーリング」、「アドベンチャープログラム」、「レクリエーション」を実施した。4日目以降の交流学习は、小刀を使った「スーパー竹とんぼづくり」、職員による星座教室「星空観察」など、個人や全体での体験活動を実施した。

健康面と登下校時の安全確保における配慮として、健康観察は朝と就寝前に行い、体調や排便の有無、薬の服用について聞き取りをするとともに、必要に応じて学校と連絡を取り合った。通学バスにはボランティアスタッフが同乗し児童の掌握及び乗下車時の安全確保を行った。

児童の就寝後にスタッフミーティングを設定し、共有すべき内容や児童への対応に関する悩みを出し合い、その対策を話し合う場とした。その後の個々の「1日をふりかえる」も含め、短時間に効率よく実施することでスタッフの睡眠時間を確保した。

7 成果とその普及

合宿前半に集団や班を中心とした活動プログラムを集中して組み込んだので、児童たちはすぐに班員やボランティアスタッフと仲良くなり、班でまとまって行動することが浸透していた。

1週間の通学合宿をとおして、下校バス到着後すぐに家庭学習の時間を設定したことにより、落ち着いて学習に取り組む姿が見られた。児童からも「いつもよりも集中して勉強ができた」「わからないところをていねいに教えてもらった」という感想が聞かれた。

生活に関しては、「衣・食・住」を自らの力で取り寄せたことにより、「洗濯や持ち物の整頓など自分のことは自分でできるようになったし、バランスの良い食事をとるようにこころがけた」という児童の声が聞かれた。また、集団生活の約束事を「家訓」として提示し、「1日をふりかえる」や評価の方法を工夫したことにより、児童への浸透が見られ、ねらいとしている基本的な生活習慣の定着につながった。

参加児童とその保護者のアンケートは、過去3年間のデータも見ながらまとめ、事業の成果を広めるとともに今後の事業計画、運営に生かしていきたい。また、6年生の参加児童から「別の学校の6年生と仲良く交流できたので中学校入学後に再会するのが楽しみだ」という児童の感想が多くあった。この事業が「中1ギャップ」の解消につながっている取り組みであることも普及していきたい。

8 今後の課題

6泊7日の長期事業であり、安全・健康を第一に運営を心がけたが、冬場に入った時期で、宿泊室が乾燥した状況により喉の痛みを訴える児童が多かった。合宿後半は部屋の換気を多めに行ったが、今後は期間中をとおして室内の生活環境に気を配っていくことが大事であると感じた。

二校合同での通学合宿は今回で2回目である。今回の事業の趣旨としては十分な成果を上げることができたと感じているが、今年度の参加状況を見るとリピーターの応募が多く、新規の申し込み者が少なかった。来年度は、新規申込者が増えるようにPRを工夫していきたい。



帰所後の学習をしている様子



洗濯の様子



竹とんぼづくりの様子